

13
上
聖徒伝 234

神の涙が 私の涙に なるために

エレミヤ書 13章 イスラエルへの神の怒りと嘆き

アウトライン

0. イントロダクション

I. ユーフラテスへ 13:1~14

II. 捕囚の裁き 13:15~27

III. まとめと適用

エレミヤの涙に共感できる？

人となられたキリストに学ぼう



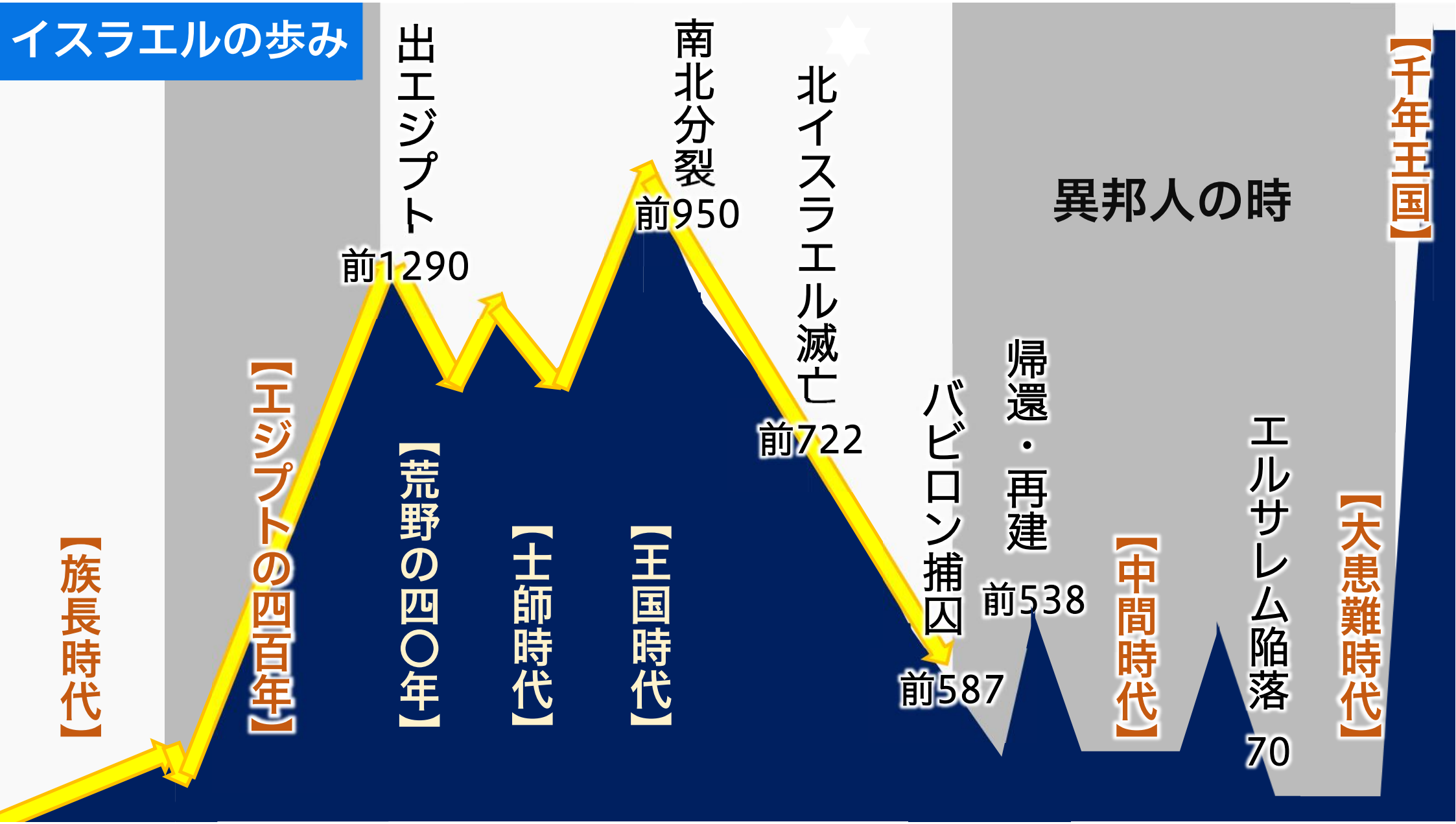


0. イントロダクション

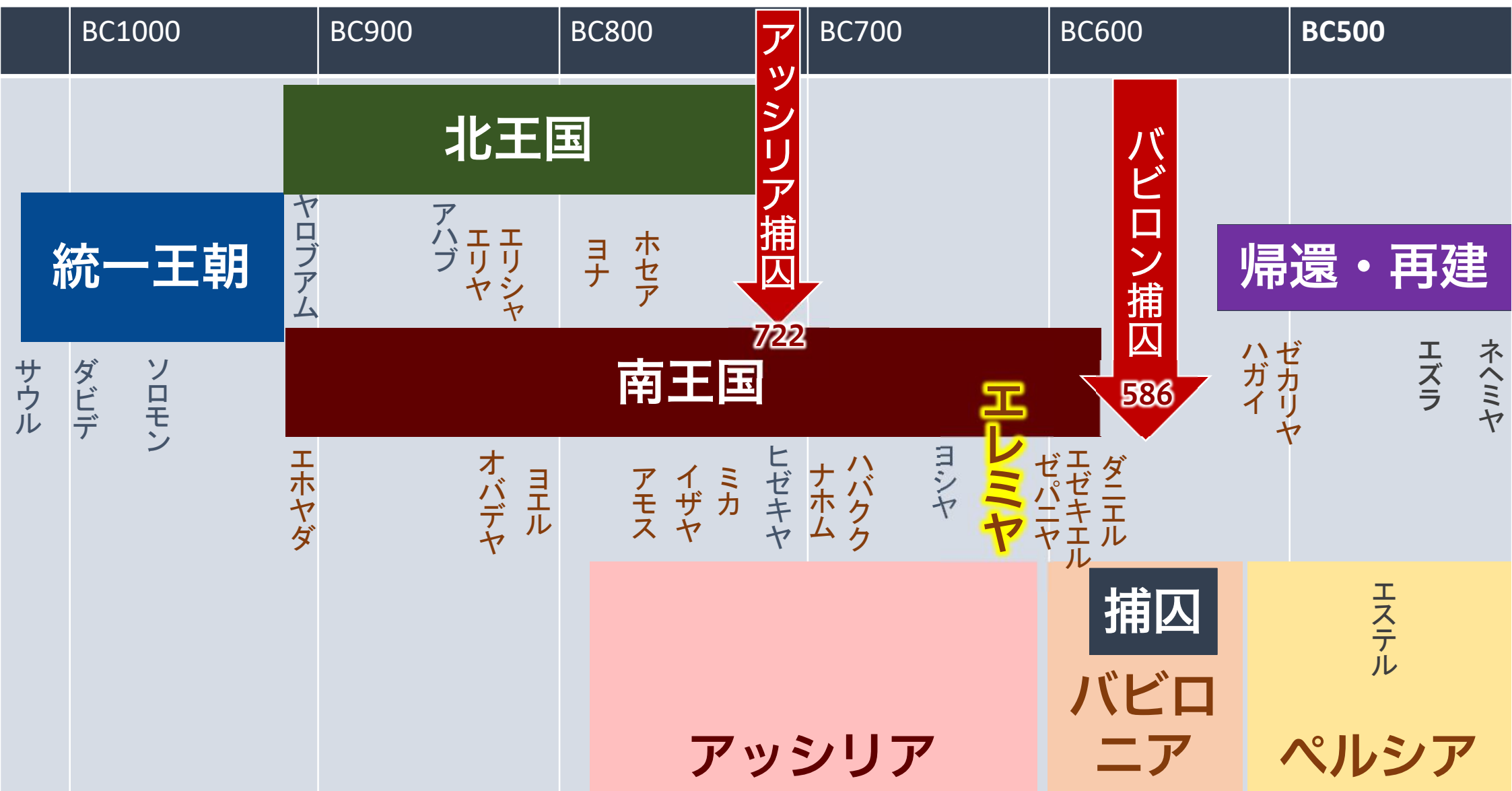
厳しい裁きの預言を学ぶ理由

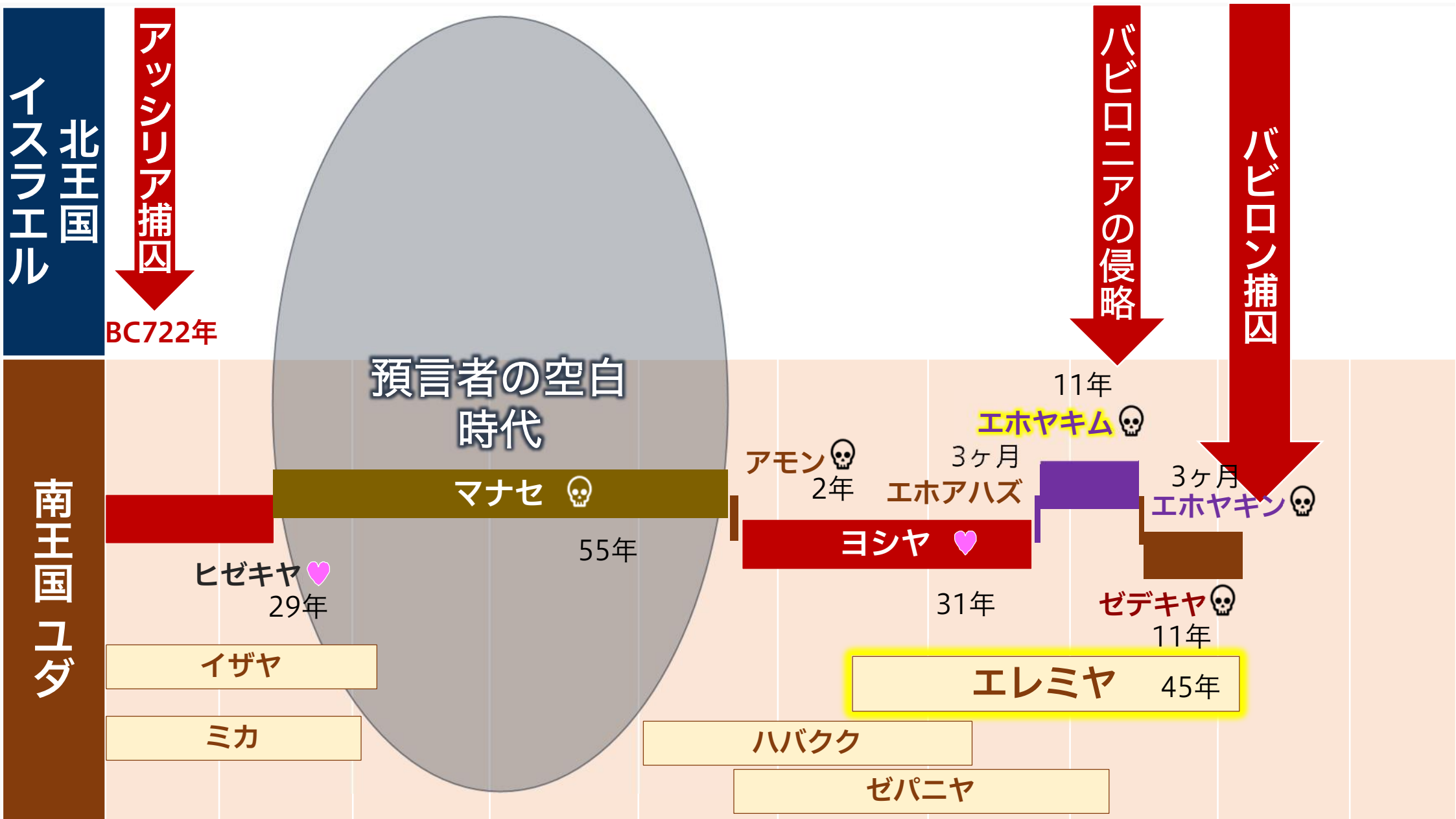
- 聖書の1/3以上は、預言。内容の大半は**裁き**。
新約時代、最も多く厳しく、**裁き**を告げたのはキリスト。
- 裁きを避けたいのは、人の心情としては当然。
厳しい裁きの預言を学べるのは、**信仰**があるからこそ。
- 避けがたい神の怒りと裁きを理解するほどに、
キリストの贖いの恵みの重さが身にしみていく。

イスラエルの歩み



イスラエル王国史





エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言 ← バビロニアの侵略開始
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

モーセに啓示された、義と愛の神

■ 出エジプト記34:6～7

「【主】、【主】は、あわれみ深く、情け深い神。怒るのに遅く、恵みとまことに富み、恵みを千代まで保ち、咎と背きと罪を赦す。しかし、罰すべき者を必ず罰して、父の咎を子に、さらに子の子に、三代、四代に報いる者である。」

■ 愛の神は、十分過ぎる悔い改めの猶予期間を与えられる。

■ 義の神は、厳正な裁きを下される。

神の恵みは、はるかに大きい。一方で避けがたい裁きもある。

律法に警告されていた、神の怒り

■申命記 6:15

あなたのうちにおられるあなたの神、【主】はねたみの神であるから、あなたの神、【主】の怒りがあなたに向かって燃え上がり、主があなたを大地の面から根絶やしにされることのないようにしなさい。

約束の地でも警告されていた、神の怒り

■ヨシュア記 23:16

主があなたがたに命じられた、あなたがたの神、
【主】の契約を破り、行ってほかの神々に仕え、それらを拝む
なら、**【主】の怒り**はあなたがたに対して燃え上がり、
あなたがたは、主がお与えになったこの良い地から速やかに
滅び失せる。」

イスラエルに下る神の怒り

- 主は、荒野時代からイスラエルを憐れみ続けた。
- 士師の時代、王国時代、主の懲らしめにも関わらず、悔い改めは束の間。イスラエルは、さらなる偶像礼拝に。
- 多くの預言者の警告の末、ついに捕囚の裁きが下る。

神の怒りが下り、厳正な神の裁きが告げられる



Ⅰ. ユーフラテスへ

エレミヤ書13:1～14

ユーフラテス川

命令 亜麻布の帯 エレミヤ13:1~2

【主】は私にこう言われた。「行って
亜麻布の帯*を買い、それを腰に締めよ。
水の中に入れてはならない*。」

私は【主】のことばのとおり、帯を
買って、腰に締めた。

*裾を上げ、動きやすく。たすきが近い。

➔労働や戦い、旅の備え

*水通し…水に浸け、生地を縮みを防ぐ
繊維が詰まり、生地が丈夫に



命令 ユーフラテスへ エレミヤ13:3~4

再び次のような【主】のことばが私にあった。

「あなたが買って腰に着けているその帯を取り、ユーフラテス川*に行って、その岩の割れ目にそれを隠せ。」

*エルサレムから最短の支流まで約600km

■バビロンは、ユーフラテス川沿いの都市



命令

再訪 エレミヤ13:5～6

そこで、【主】が私に命じられたとおり、私は行って、それをユーフラテス川のほとりに隠した。

多くの日を経て、【主】は私に言われた。「さあ、ユーフラテス川へ行き、わたしが隠せとあなたに命じたあの帯を取り出せ」



命令 ぼろぼろの帯 エレミヤ13:7～8

私はユーフラテス川に行って掘り、隠した場所から帯を取り出した。すると見よ。その帯はぼろぼろになって、何の役にも立たなくなっていた。

すると、私に次のような【主】のことばがあった。



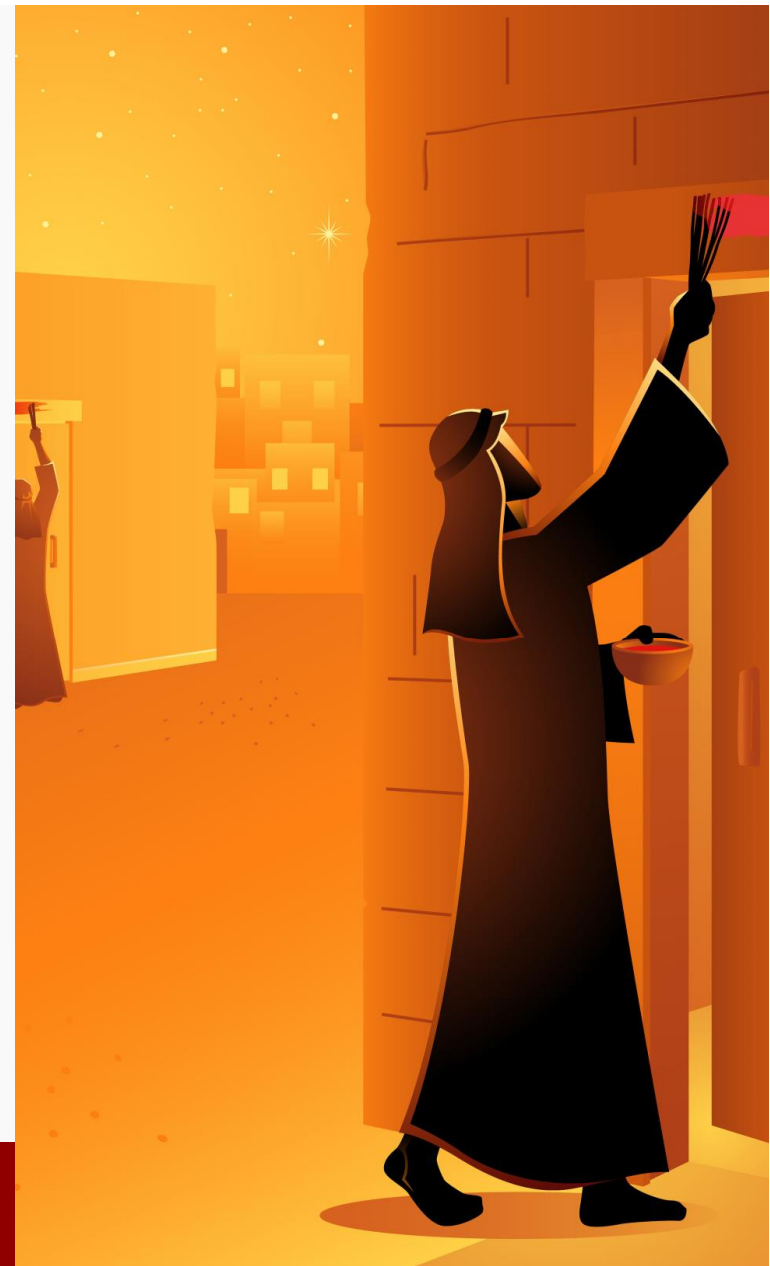
宣告 失われた誇り エレミヤ13:9~10

【主】はこう言われた。「わたしはこのように、ユダとエルサレムの大きな誇りをぼろぼろにする。

わたしのことばに聞くことを拒み、その頑なな心のままに、ほかの神々に従って歩いて、それらに仕え、それらを拝むこの悪しき民は、何の役にも立たないこの帯のようになる。」

■ 出エジプト時、イスラエルは腰に帯をし、過越の犠牲と種なしパンを食べて出発!!

イスラエルは、神の民の誇りを失った



宣告 神の帯 エレミヤ13:11

帯が人の腰に着けられるように、わたしはイスラエルの全家とユダの全家をわたしに着けた——【主】のことば——。それは、彼らがわたしの民となり、名声となり、栄誉となり、栄えとなるためだった。しかし彼らはわたしに聞き従わなかったのだ。

■イスラエルは、神の飾り帯。

➔本来、神の民として、
神の栄光を現すべき存在だが…。



宣告 怒りの杯 エレミヤ13:12~13a

あなたは彼らにこのことばを伝えよ。

『イスラエルの神、【主】はこう言われる。
酒壺には酒*が満たされる。』彼らがあなた
に『酒壺に酒*が満たされることくらい、分
かりきっているではないか』と言ったなら、
あなたは彼らに言え。

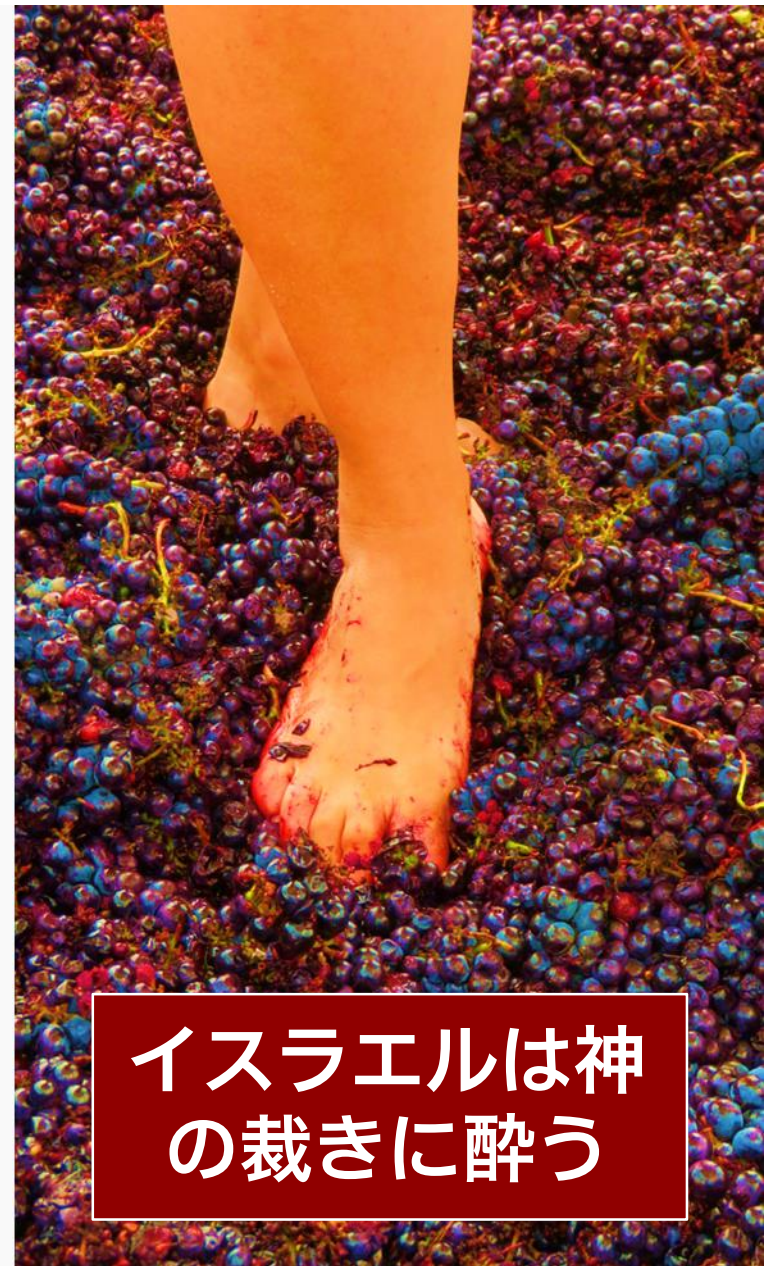
*神の怒りのぶどう酒・杯(黙14:10)



宣告 主の裁き エレミヤ13:13b~14

『【主】はこう言われる。見よ。わたしは、この地の全住民を、ダビデの王座に着いている王たち、祭司、預言者、およびエルサレムの全住民を**酔い**で満たし、彼らを互いにぶつけて砕く。父も子も、ともに——【主】のことば——。わたしは容赦せず、惜しまず、あわれみをかけずに、彼らを滅ぼす』」

■イザヤ 63:6 「わたしは怒って諸国の民を踏みつけ、わたしの憤りをもって彼らを**酔わせ**、彼らの血の滴りを地に流れさせた。」



イスラエルは神の裁きに酔う



II. 捕囚の裁き

エレミヤ書13:15～27

ユーフラテス川

警告

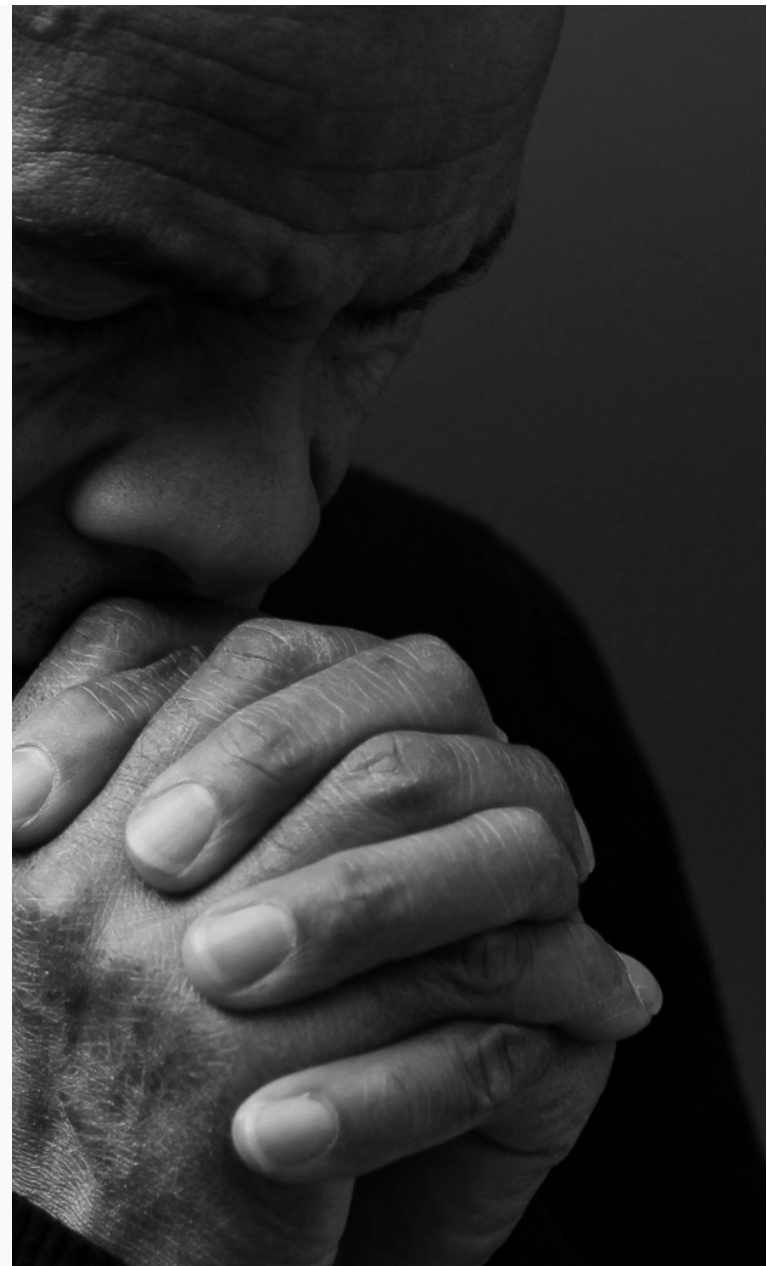
主に栄光を エレミヤ13:15~16

耳を傾けて聞け。高ぶるな。【主】が語られたからだ。

あなたがたの神、【主】に、栄光を帰せよ。
まだ主が闇を送らないうちに、まだあなたがたの足が夕暮れの山でつまずかないうちに。
あなたがたが光を待ち望んでも、主はそれを死の陰に変え、暗黒とされる。

■イスラエルの栄華は、全て主が与えられた。

➔主を礼拝し、主に栄光を帰すよう、
強く促されている。



警告

嘆きと涙 エレミヤ13:17

もし、あなたがたがこれに聞かなければ、私は隠れたところでああなたがたの高ぶりのために嘆き、涙にくれ、私の目には涙があふれる。

【主】の群れが捕らわれて行く*からだ。

- 涙の預言者・エレミヤに見えているのは、主による裁き・バビロン捕囚*



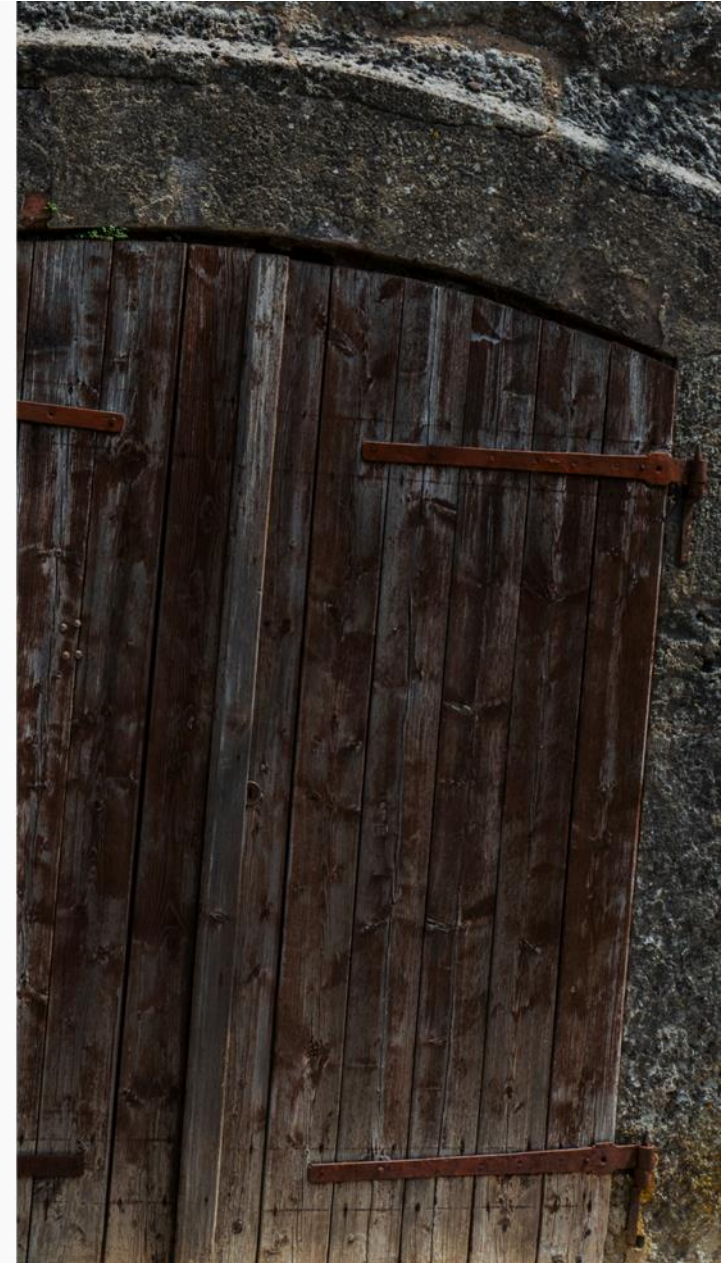
裁き 失われた栄華 エレミヤ13:18～19

「王と王母に告げよ。『低い座に着け。あなたがたの頭から、輝かしい冠が落ちた*から』

ネゲブの町々は閉ざされて、だれも開ける者はいない*。ユダはことごとく捕らえ移される。一人残らず捕らえ移される。

*王族は卑しめられる

*門番もおらず、町の門を開ける者もない。



裁き

下剋上 エレミヤ13:20~21

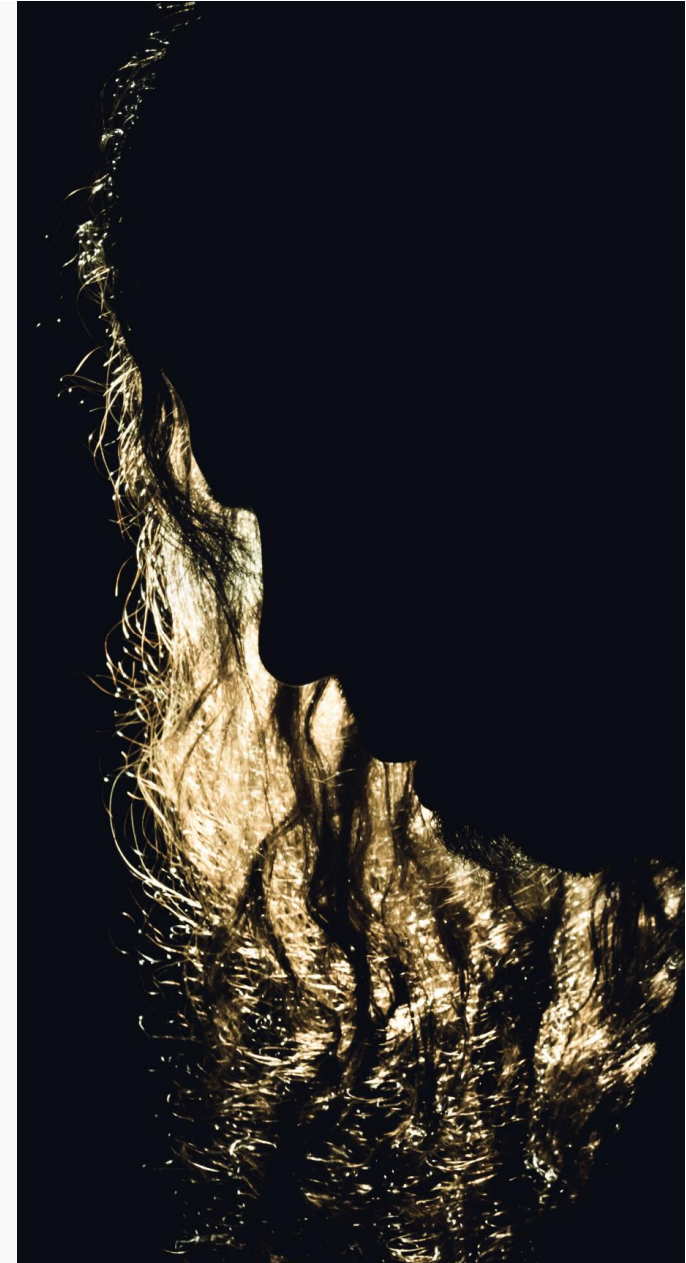
あなたがたの目を上げ、北から来る者たち*を見よ。あなたに対して与えられた群れ、あなたの美しい羊の群れはどこにいるのか。

最も親しい友としてあなたが教えてきた者たちが、あなたの上に、かしらとして立てられる*とき、あなたは何と言うのか。激しい痛みがあなたをとらえないだろうか。子を産む女のように。

*北からの侵略者・バビロニア

*指導者が地位を失い、部下が取り立てられる。

➡権威者たちの失墜。貴賤の逆転!!



裁き

咎のために エレミヤ13:22

あなたが心の中で『なぜ、こんなことが私の身に起こったのか』と言うなら、それは、あなたの多くの咎のためだ。それで、あなたの裾はまくられて、あなたのかかとは傷を負う*のだ。

*捕囚として連行される様子



裁き 消せない罪 エレミヤ13:23～24

クシュ人*がその皮膚を、豹がその斑点を、
変えることができるだろうか。それができる
なら、悪に慣れたあなたがたも善を行うこと
ができるだろう。

わたしは彼らを、荒野の風に吹き飛ばされ
る藁*のように散らす。

*エチオピアの黒人

*麦の脱穀の様子。神に裁かれる者のたとえ

回帰不能点は超えた。裁きは免れない!!



裁き 割り当て エレミヤ13:25

これが、あなたへの割り当て、わたしがあなたに量り与える分*である。——【主】のことば——あなたがわたしを忘れ、偽りに拠り頼んだためだ。

- *本来の割り当ては、律法が定める恵み、嗣業の地。➡ここでは裁きの割り当てに!!
- 偶像礼拝により、恵みを失い、神の裁きを割り当てとして受けることに!!



裁き

靈的姦淫 エレミヤ13:26～27

わたしも、あなたの裾を顔の上までまくるので、あなたの恥ずべきところが現れる。

あなたの姦淫、あなたの興奮のいななき、あなたの淫行のわざ——数々の忌まわしいものを、わたしは丘の上や野原で見た。ああ、エルサレムよ。あなたはいつまで、きよめられないままなのか。」

＊露わにされるイスラエルのすべての罪

■再三の神の警告と懲らしめにも関わらず、悔い改めなかった結果が、バビロン捕囚。





Ⅲ. まとめと適用

エレミヤの涙に共感できる？
人となられたキリストに学ぼう

ユーフラテス川

体験的預言の意味は？

■ 預言者は、時に、体験や行動で、神の言葉を啓示した。

例) 姦淫の女と結婚したホセア。

いちじくを枯らしたメシアも、まさに預言者。

■ エレミヤは、バビロン捕囚を疑似体験させられた。

➔ ユーフラテスまでの道を、後に捕囚の民が行く

エレミヤは、神の嘆きと悲しみをもって裁きを告げた

イスラエルの苦しみが今なお続くのは？

- 勝利とはほど遠い、ハマスとの停戦。
…釈放される大量のテロリスト。ハマスは勝利宣言。
限定的な人質の解放。根は残ったまま。
- バビロン捕囚(BC586)、ローマによる陥落(AD70)、
離散の歴史、繰り返されてきた迫害、虐殺…。
不信仰なままの帰還。待ち受けるのは大艱難。

イスラエルの背きと神の裁きは、現在進行形で続いている

異邦人クリスチャンの恵みと使命

「それでは尋ねますが、彼らがつまずいたのは倒れるためでしょうか。決してそんなことはありません。かえって、彼らの背きによって、救いが異邦人に及び、イスラエルにねたみを起こさせました。ローマ 11:11」

- イスラエルの背きにより、私たちは救いにあずかった。信仰により、イスラエルにねたみを起こさせ、救いに導くことが、異邦人信者の使命。

異邦人信者の使命を実感に変えるために

①体験的に知る

→疑似でもいい、何か体験を重ねよう。頭と体で覚えよう。

例)毎日、イスラエルのニュースを見て祈りに覚える。

ユダヤ人伝道のために、イスラエルのために献金する。

SNSやネットニュースで、コメントする。

②想像力を働かせる

エレミヤが、将来の捕囚を悲しみ嘆いたように、

イスラエルの今と将来の苦しみに思いを馳せよう。

イエス・キリストにならうべきこと

■ 人となられた神の子イエス・キリストは、
イスラエルの苦しみを身をもって味わわれた。
霊的、肉体的に弱り果てた人々を深くあわれまれた。
（“はらわたで受けた”）

■ 罪人の私たちの想像力は貧相で、共感力も乏しく薄情だ。
➔ 私たちにはできないから、**聖霊**が住まわれている

御霊の助けを求めよう。主イエスのようになれるように

涙の預言者・エレミヤにならうべきこと

「私は隠れたところであなたがたの高ぶりのために嘆き、涙にくれ、私の目には涙があふれる。エレミヤ13:17」

- 預言者としての使命に人生を注いでいたエレミヤは、御霊に満たされ、神の嘆きを全身全霊で味わわされた。
- 異邦人クリスチャンである私たちも同様だ。
与えられた使命に注力すれば、御霊に満たされ、
神の嘆きを味わわされていく。

人となられたメシアに学ぶ

①人として遣わされた。

→ナザレで育ち、働き、人々と交わり、関係を築かれた

②人々に福音を告げ、ご自身こそキリストだと証しされた。

③神と人への共感を深められた。

→神の怒りを身に受け、人々の救いを求めて叫ぶまでに

「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。ルカ 23:34」

クリスチャンの成長のループ

①遣わされる。

→具体的に、どこかへ、誰かのもとへ。関係性を築いていく。

②そこで、その人に、福音を告げる、主イエスを証しする。

→言葉をもって。自分自身の日常、生き様をもって。

③結果、神と人への共感が深まる。

→さらに、①遣わされ、②福音を告げ、③共感を深めていく

★ 神の涙が、私の涙となるために ★

■ **人となられた神の子イエス・キリストが、常に私たちの模範。**

メシアとしての活動を始めるまで、30年間、主は忍耐された。人として育ち、生活し、働き、人々への共感を深められた。

■ **福音宣教に近道はない。ノウハウやハウツーなど存在しない。**

遣わされた地に根ざし、人々を愛し、関係を深めていこう。忍耐して時を待とう、必ず福音を告げる機会が与えられる。

裁きが迫る闇の世に、主の救いを切実に求めて行こう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ しゅ
わたしは、神のみ子、主イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたこと、を信じます。

ひと わたし あわ いの ささ
人となられたキリストが、私を憐れみ、祈り、支えてくださいます。

しゅ なみだ わたし なみだ
エレミヤのように、主の涙が、私の涙となりますように。

わたし しゅ みたま み しゅ おも わたし こころ
私を主の御霊で満たし、主の思いに、私の心をあわせてください。

しゅ あい ふくいん つ あか もの
主の愛をもって、福音を告げ、主を証ししていく者としてください

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」